

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) ( ) は厳密にする。

質問番号	地図番号 260 <del>125</del>	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (1)
項目名 雪 136			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
18 62, 48	ヅキ 〈仙台の人は「ズキ」という。〉	
37 24, 96	イキ (イ〜ユ 中間音)	
37 30, 43	jogī (古) jūgī (新)	
37 34, 42	イキ (2)キ	37 84, 87 に「イキ」イキ〜イユキの ようにイユキ〜イユキと 意味するとみる。 cf. 37 67, 18 37 84, 24 Tok.
37 46, 09	jūki (jの摩擦が著しい)	
37 51, 81	jūgi (〔J〕徴のみに入る様である。)	
37 64, 86	イキ	37 84, 87 の表記に準い YUGI に入る。 Tok.

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) ( ) は厳密にする。

質問番号	地図番号 268 <del>125</del>	(A) 普通注記	ページ
項目名 雪 156		(B) 除いた共通語	
		(C) 除いた特殊語	(2)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
37 67, 18	ジ (イ)キ 37 84, 87 E みア コキ~コイキ'のふう 表記とも 思われるが 117 コキ~イキ'と みる。 cf. 37 34, 42 37 84, 24 Tok.	
37 83, 08	ju'ɾki ō は こわすい 中音化したもの。	
37 84, 24	ジ (イ)キ 37 84, 87 E みア コキ~コイキ'の ふうは 表記とも 思われるが 117 コキ~イキ'とみる。 cf. 37 34, 42 37 67, 18 ) Tok.	
46 09, 54	jogɯ < もと 普通 = > juwɯ < 今, 芝 >	
46 18, 87	jogɯ < もと はヨキ, 今 はヨキ' と も コキ' と も 117 > juwɯ	
46 19, 23	jo'ɾgi < 古 >	juw'ɾgi

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 260 <del>725</del>	① 普通注記	ページ
項目名		(B 除いた共通語)	
雪 13		(C 除いた特殊語)	(3)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
46 19.29	jog <sub>レ</sub> 〈もと〉 jw <sub>レ</sub> gi 〈いま〉	
46 29.43	jog <sub>レ</sub> 〈普通〉	jw <sub>レ</sub> gi
46 38.22	jw <sup>7</sup> ki 〈あらは a <sup>7</sup> -na <sup>7</sup> re という〉	
46 53.02	jw <sup>7</sup> ki ↳ これは こくわすい	
46 85.72	eki 〈古〉	jw <sub>レ</sub> ki
46 87.37	jw <sub>レ</sub> ki 〈80才以上の老人は riki と云った。〉 〈 <sup>23</sup> 皇谷(な谷南方8kmの部落)では 今日 riki と云う。〉	
46 94.95	joki (はしめ) (*) Lki (奪の訂正と認めた。)	
46 95.21	jw <sub>レ</sub> ki (はしめ) * joki	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) ( ) は厳密にする。

質問番号	地図番号 260 <del>125</del>	① 普通注記	ページ
項目名 雪		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(4)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
46 96.82	joki <共>	eki
47 31.15	jwɔ̃ki jはJ的なマツエと母音。	
47 51.42	jügi <共>	ɟjügi
47 60.98	zũki wが中舌化に軽微。	
54 72.91	eki 13Fに母音 dambera	
55 39.43	イキ <古>	エキ
55 99.75	イキ <希>	エキ
56 11.81	jwki 音調 エキ	
56 12.98	jwgi (共)	igi
56 13.53	jwki <老人や女性に eki と ẽj. >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 260 <del>725</del>	(A) 普通注記	ページ
項目名 雪 155		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(5)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
56 15. 28	joki <共>	eki
56 23. 27	iki 《juri》	
56 24. 85	itji <古>	juki
56 39. 80	エキ (ユキがエキのほうに南23)	
<del>56 64. 58</del>		
56 65. 11	ユキ <ツモルノワユキ>	
63 78. 70	ユキバタ <古>	
64 08. 72	riki <古>	jurki
64 24. 89	irki <古>	jurki
64 85. 14	ユキ ユキバタ <雪が降り積る。一面に白くなる。はらわし>	

56 80. 34 jurki II ヌキ  
↓  
(岡田言葉の研究)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号欄に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は縦書きにする。

質問番号	地図番号 268 <del>725</del>	① 普通注記	ページ
項目名 雪 125		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(6)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	ユキマあるが、冬の始め、春近頃 など：千う千うと教分かひるまじい＝降分。 つらす＝終わる場■合のをユキマ という。ユキママキルという。→	
64 91.49	juuki (「わたり」"わたしの雪"の降ろさ 〈watabo:si ga fut:oru〉と いう。	
65 07.13	〈他・古〉イキ	ユキ
65 15.24	iki 〈古〉	juki
67 21.31	juuki 〈片状〉	
72 46.45	juh° °内破音	
73 26.41	ju'ki 〈雪の丈さいさ ko'jkon という〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( ) ( )は厳密にする。

質問番号	地区番号 260 <del>725</del>	<input checked="" type="checkbox"/> A 普通注記 <input type="checkbox"/> (B 除いた共通語) <input type="checkbox"/> (C 除いた特殊語)	ページ  (7)
項目名 雪 125			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
73 61. 17	ユキ	
73 81. 97	ユキ [juki]	
74 04. 12	juki < misore は, amemaziri の雪, 今では botanjuki としつておける, watabo:si という。> と説明を 添えた。(watabo:si は積り 状態ではなく、降りてくる雪片が大きい のをいう由。)	
83 13. 88	jut (ユキの末尾音の入声化)	
83 23. 59	(?) juki juki は jut と発音するが普通。	
83 34. 25	juki or jut (jut が日常形)	
83 34. 63	ju <del>■</del> t (日常語)	juki

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 260 #25	① 普通注記	ページ
項目名 雪 155		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(8)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
83 35.11	ju <sup>7</sup> ki <雪が降るは ju <sup>7</sup> kka— という。>	
83 41.12	jut (ju <sup>2</sup> アハ 雨は降る)	
83 94.01	juki <めったに降らない>	
02 37.84	ju <sup>7</sup> ki <あられさいう>	
02 76.50	juki (園内で実物は見ないが)	
02 94.66	juki (雪は見ないけれど)	
02 94.93	juki *見ないけれど*	
11 67.01	jutsi 霰にもいう (雪は降らない)	
11 69.84	jutsi <霰にもいう。>	
12 11.69	jutsi ことはとらあり。	



- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 260 <del>125</del>	① 普通注記	ページ  (9)
項目名 雪 126		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
12 13. 76	juki たいば	
12 21. 47	jutji ことばはあるが、「あられ」のこと	NR
12 23. 91	juki <霰に目いう>	
12 31. 72	jutji <あられに目いう>	
12 31. 88	jutji: 霰の量に目用いられる	
12 32. 29	juki <霰に目いう>	
12 32. 75	juki <あられに目いう>	
12 33. 61	juki <霰のことと目いう>	
12 41. 05	juki <あられに目いう>	
12 41. 49	juki <あられに目いう>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( )〔 〕は気密にする。

質問番号	地図番号 260 <del>725</del>	<input checked="" type="radio"/> A 普通注記 <input type="radio"/> B 除いた共通語 <input type="radio"/> C 除いた特殊語	ページ  (10)
項目名 雪 155			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
12 41.96	jutji <あられに由い>	
12 42.22	jutji あられに由 jutjiとい	
12 42.26	juki <霰のことEい>	
12 42.72	juki <霰のことEい>	
12 50.59	jutji <あられに由い>	
12 51.04	jutji <霰のことEい>	
12 51.27	jutji <霰のことEい>	
12 51.73	jutji <霰に由い>	
12 51.98	jutji <あられのことEい>	
12 60.78	jutji <あられは zarari とい。>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 260 <del>125</del>	① 普通注記	ページ (11)
項目名 雪 125		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
12 60.87	jutʃi <霰にもいう。>	
12 61.70	jutʃi <arari <霰> と区別して観念的に知れている。>	
12 61.80	jutʃi <あられは arari という。> (?)	
12 70.26	juki <霰にもいう。>	
12 70.29	jutʃi <あられにもいう。>	
12 71.20	jutʃi (霰にもいう)	
20 76.25	jukiʔ <あられにもいう。>	
20 76.917	juki <あられのとにもいう。>	
20 76.98	jukiʔ <あられのとにもいう。>	
20 86.03	juki <?>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 260 <del>725</del>	① 普通注記	ページ  (12)
項目名 雪 155		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2140.49	juki 〈霰にいう。〉	
2140.96	jutsi 〈霰の意を含む〉	
2150.06	jutsi 〈雪及び霰のことという。〉	
2151.11	juki 〈霰にいう。〉	
2151.20	juki 〈普通霰のことという。雲にいう。〉	
2151.51	juki 〈霰にいう〉	
2151.64	juki jutsi 〈霰の意を含む。〉	
2151.67	jutsi 〈霰にいう〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( ) ( ) は厳密にする。

質問番号	地図番号 260 <del>125</del>	A 普通注記	ページ ( 1 )
項目名 雪 125		(B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
46 29.43	jwku <上>	joku <普通> jwgu
46 67.33	ユキコンコ (子供)	ユキ"
46 84.77	jwki (共)	joki
46 86.52	jwki <共>	[eki]
55 79.79	<改>ユキ	イキ
55 88.78	ユキ <共>	イキ
55 97.78	<共>ユキ	イキ
56 06.83	jwki <共> bombo <子>	eki
56 14.68	jwki <共>	eki
56 15.20	jwki <共>	eki

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( ) ( )は厳密にする。

質問番号	地図番号 260 <del>125</del>	A 普通注記	ページ
項目名 雪 155		(B) 除いた共通語	(2)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 15.74	juki (上)	eki
56 22.48	juki <共>	igi
56 64.58	シン <sup>シウ</sup> シウノオジコ シンシウノオバコ <フブイテクルトキ>	ユキ
56 65.11	ハアテ	ユキ <ツモルノワユキ>
63 78.70	ユキ <新>	ユキバナ <古>
64 13.10	juki <共>	eki
65 06.55	<共> ユキ	イキ
65 07.48	<共> ユキ	イキ
65 36.68	juki KONKO <小川時>	juki
67 21.31	mizote <粒状>	juki <片状>

